

プロ野球選手がやってきた!

未経験児童などに野球の楽しさを知ってもらう体験会を開催

12月21日、総合運動公園市営野球場で現役プロ野球選手による野球体験会が開かれました。体験会は、野球の魅力を知ってもらおうと日本プロ野球選手会と小林軟式野球連盟が主催したもの。

市内の野球未経験・経験1年未満の年長児～小学4年生39人が参加し、宮崎にゆかりのある阪神タイガース小幡竜平選手と広島東洋カープ羽月隆太郎選手が指導。子どもたちは2組に別れ、小幡選手からキャッチボールの基本を、羽月選手からバッティングのコツを教わりました。

体験会終了後、両選手は「プロ野球で皆さんを待っているのがんばってください」と、参加した子どもたちを激励しました。



Photo 1 小幡選手からキャッチボールの指導を受ける様子 2 羽月選手からバッティングの指導を受ける様子。子どもたちは両選手から丁寧な指導を受けていました 3・4 野球教室に参加した子どもたち



「1秒の重み」を意識して激戦を制す

小林高校男子が全国高校駅伝で9年ぶりの入賞果たす

12月22日、冬の京都で高校生ランナーがたすきをつなぐ全国高校駅伝が開催され、宮崎県代表として小林高校の男女両チームが出場しました。

前回わずか7秒差で入賞を逃し、悔しい思いをした男子は、「1秒を削る」意識で全員が力走。アンカーの温水英真選手がトラック勝負となった激戦を1秒差で制し、2時間4分58秒で8位入賞を果たしました。

女子は、途中で他校選手と接触するアクシデントなどもある中、粘り強い走りですすきをつなぎ、前回順位より10位あげ、17位でゴールしました。



Photo1 男子1区の飯田ケビン選手(3年)写真⑤
2 男子3区の小中野翔選手(3年)、区間9位の走りですすきをつなぐ好走を見せる
3 男子4区小林出身の後藤秀波選手(3年)も力走
4 女子1区の菅原心菜選手(2年)写真④
5 女子5区の石川美沙希選手(3年)



1・5 会場外では国スポのパネル展や福祉しよっぱを実施 2 オープニングの小林秀峰高校新体操部の演技 3 小林中央保育所園児の国スポ・障スポダンス 4 各競技団体代表者の決意表明宣誓 6 日本ウエイトリフティング女子チームに小林市産宮崎牛の贈呈 7 実行委員会のオール小林宣言 8 小林秀峰高校生作のカウントダウンボード

1	2	3
4	5	8
6	7	



紡ぐ感動 神話となれ

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ

第81回国民スポーツ大会 2027 第26回全国障害者スポーツ大会

1000 DAYS TO GO EVENT
1000日前イベント

「KITTO 小林」に
カウントダウンボードを設置!

イベントでお披露目されたカウントダウンボードは、現在 KITTO 小林バスセンターの入口に設置。作成したのは小林秀峰高校の電気科、商業マネジメント科の5人で「小林市で行われる競技がひと目でわかるようなカウントダウンボードを作成しました。見た人が開催を待ち望んでくれたらうれしい」と宮崎国スポ・障スポ開催に込めた想いを話しました。

2027年に宮崎県で開催される「宮崎国スポ・障スポ」。令和6年12月30日で開催まで1000日となったことを記念し、1月11日に文化会館で「宮崎国スポ・障スポ1000日前イベント」を開催しました。当日は、小林秀峰高校新体操部の演技を皮切りに、小林市全体で大会を成功させることを誓う小林市実行委員会の「オール小林宣言」や各競技団体代表者による大会に向けた決意表明宣誓

が行われたほか、小林中央保育所園児による国スポ・障スポダンスの披露や小林秀峰高校生が作成したカウントダウンボードのお披露目などが行われました。また、イベントの後半では、本市開催競技の1つである、ウエイトリフティング競技の日本女子チーム6人のトークショーも開催。参加した市民や競技関係者など約250人は、宮崎国スポ・障スポへの期待を膨らませました。



国スポ・障スポ開催まで1000日